

長崎市立図書館「がん情報サービス」の新たな試み

ー利用者目線を重視したブックリスト作成ー

森ふゆ子

長崎市立図書館

がん情報；ブックリスト

【目的】

長崎市立図書館において、がん情報サービスの一つとして取組んだ「課題別ブックリスト」について。立場や状況によって変化するがん情報を、市民が自ら探し出せるブックリストを目標に作成した、過程と工夫点を報告する。

【作成の背景】

市民が求めるがん情報は予防、診断、治療、心の問題に至るまで様々な分野に及ぶ。長崎市立図書館のがん情報コーナーに置いている資料だけでも400冊を超える。これらの膨大な数の資料の中から、市民が有効な情報を入手できるように支援するため、また図書館員が求められたがん情報に的確に対応するためにも、資料を吟味し、市民の課題に適したブックリスト作成が必要と感じた。

【作成方法】

作成は課題別ブックリスト担当で、話し合いを重ねながら進めた。主な工夫点として、診断前・治療中・治療後の時間の経過を意識した構成にしたこと、図書館員が実際に資料に目を通して書いた紹介文を載せたこと、である。

- ・市民のニーズに適したテーマの選定
- ・ブックリストの構成の検討
- ・選書
- ・不足資料の収集、新たな資料の発掘
- ・紹介文の作成

【結論と課題】

筆者自身、ブックリストの作成過程で多くの資料に触れることによって、選書をはじめ医療健康情報について知識を得ることができた。作成方法は模索中ではあるが、今後は作成頻度を増やし、ブックリストのテーマを充実させると同時に、市民に活用されているか等の調査が必要である。また、他の図書館員がブックリストを作る際に参考にできるよう、「課題別ブックリストガイドライン」を作成する。